



たより vol.51

祥雲閣で季節の花々や



かわいらしい茶器を愛でながら
お茶を楽しみましょう。

祥雲閣では、初秋の美しい庭園を眺めながら、静かで心地よさを感じさせる立礼茶室（椅子にお掛けいただくお席）で、ゆっくりとお茶とお菓子を楽しんでいただけます。

軽やかなのど越しの中にさわやかな苦みが味わえる抹茶に季節の菓子が添えられます。菓子は色や形だけでなく、素材や食感などで季節感を表現しており、四季の移ろいをも味わうことができます。

土曜日のみ提供している煎茶は独特のうまみと甘味が味わえる一煎目、程よい渋味と香りにさっぱりとした後味の二煎目を味わえます。四季折々の祥雲閣にぜひお越しください。



恋する秋の音楽祭 Vol.11

～ 秋空の下 祥雲閣庭園で奏でるコンサート

すてきな時間が流れる 恋する秋の音楽祭 ～

毎年秋に開催される「恋する秋の音楽祭」は、今年で11回目です。女優・劇作家の高泉淳子さんが繰りひろげる歌と楽しいおしゃべりのステージ。ジャズ、シャンソン、恋の歌をオリジナル歌詞で変幻自在に演出します。

令和5年10月8日(日)

2回公演 1公演 70人(計140人)

【昼の部】 13:15 開場/13:30 開演

【夕刻の部】 15:45 開場/16:00 開演

全席自由 2,200円 チケット好評発売中

高泉淳子さんプロフィール



古川地域出身。役者・劇作家・演出家。早稲田大学在学中に演劇を始める。NHK「週刊こどもニュース」・「週刊ブックレビュー」の司会、執筆活動、演劇・音楽プロデュースなど、多方面で活躍。平成3年文化庁芸術祭賞受賞、平成15年読売演劇大賞優秀女優賞受賞。平成19年から現在までおおさき宝大使を務める。

季節の行事



ちょうよう

重陽の節句



9月9日は「重陽の節句」です。菊が咲く季節と重なるので「菊の節句」とも呼ばれます。桃の節句（3月3日）や端午の節句（5月5日）と同じ五節句の一つです。中国では奇数（陽数）の中で一番大きな数字「9」が二つ重なる9月9日を陽が重なりと書いて重陽と呼び、大変おめでたい日としてきたそうです。

重陽の節句の前日の8日の夜に菊の花に綿をかぶせ、9日の朝に菊の香や露を含んだ綿で身体を拭き、無病息災や長寿を願った「着せ綿」と言う風習も伝えられています。

※諸説あります。

カレンダー

※ 休館日、○は煎茶提供日です。

9月							10月							11月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
					1	②	1	2	3	4	5	6	⑦				1	2	3	④
3	4	5	6	7	8	⑨	8	9	10	11	12	13	⑭	5	6	7	8	9	10	⑪
10	11	12	13	14	15	⑯	15	16	17	18	19	20	⑰	12	13	14	15	16	17	⑱
17	18	19	20	21	22	⑳	22	23	24	25	26	27	㉘	19	20	21	22	23	24	㉙
24	25	26	27	28	29	⑳	29	30	31					26	27	28	29	30		

所在地 大崎市古川福沼一丁目2-2

電話 0229-24-3385

交通 JR古川駅から徒歩約20分

東北自動車道古川ICより車で約10分

駐車場 有

休館日 月曜日（月曜が祝日の場合は翌日）

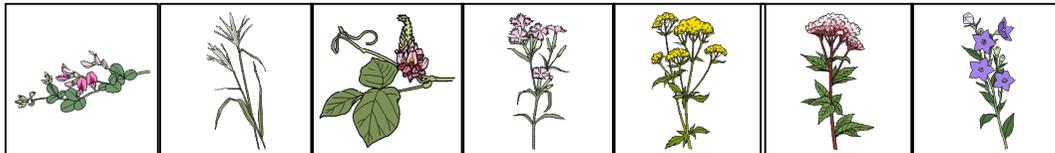
入館料 無料 呈茶の場合は抹茶・煎茶に菓子がついて500円

秋の七草

万葉集を代表する歌人、山上憶良が二首の歌を詠んでから歌にある七種類の草花が秋を代表する「秋の七草」と親しまれるようになりました。その中の「あさがおのはな（朝貌の花）」は「朝顔」や「昼顔」、「木槿」などさまざまな説がありますが「桔梗」を指していると言われるそうです。

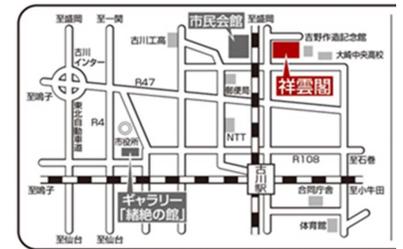
秋の七草は春の七草のように食べたり摘んだりするのではなく、秋の野に咲く美しい花を見て慈しむものです。祥雲閣の庭園を散策し季節を感じてみてはいかがでしょうか。

はぎ おばな（すすき）くず なでしこ おみなえし ふじばかま あさがお（ききょう）



秋の野に咲きたる花を
指折りかき数ふれば七種の花
それは萩の花、尾花、葛の花、
撫子の花、女郎花、また藤袴、朝貌の花

万葉集 山上憶良



大崎市祥雲閣

令和5年 8月 24日発行

〒989-6105

宮城県大崎市古川福沼一丁目2番2号

TEL・FAX 0229-24-3385